

## ～トルコ株式市場について～

### ～トルコ株式市場の下落について～

4月は上昇基調で推移したトルコ株式市場は、5月はイスタンブール・ナショナル100種指数(以下、指数、もしくは同指数)が▲8.96%の下落となりました。5月3日に同指数は70,072.02ポイントの高値をつけた後、世界的なコモディティ市場の調整を契機に下落に転じて以降軟調な展開が続き、30日には61,491.71ポイントの月間安値をつけました。31日はトルコ統計局が発表した4月の貿易収支赤字幅が市場予想を下回ったことから、反発し月間の取引を終えました。

5月の株式市場が下落基調となった要因としては以下のような理由が挙げられます。

#### 【外部要因】

- ①隣国シリアの政情悪化
- ②ギリシャの債務再編懸念

#### 【トルコ固有の要因】

- ①トルコの3月の経常収支赤字幅が前年同月比98億ドルと市場予想以上に拡大したこと
- ②トルコ中央銀行が2011年の消費者物価上昇率見通しを従来の5.9%から6.9%に引き上げたことに伴い、インフレ懸念が高まり利上げ観測が浮上したこと

加えて、足元の銀行貸出の伸びは年率35%超とトルコ政府とトルコ中央銀行の政策目標である25%を上回っています。そのため、融資残高の伸びが著しい銀行に対する規制が強化され、銀行の収益が圧迫されるとの観測から5月の銀行株は上値の重い展開となりました。トルコ株式市場は金融セクターが指数の過半数を占めているため、金融引き締めへの警戒が銀行セクターのマイナス要因と受け取られ、結果として指数の上値が抑制される状況が続いております。

また、6月12日の選挙後に政策金利や預金準備率の引き上げが実施される可能性が高いとの見方が優勢なこともトルコ株式市場の重石となっております。

### ～今後のトルコ株式市場動向について～

5月の相場は、トルコの経常収支赤字の拡大に市場が過敏に反応するなど、他の新興国同様インフレ懸念の台頭が市場のテーマとなりました。今後のトルコ株式市場は、大幅調整の後だけに、当面振れ幅の大きい展開が予想されます。

◆当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。

◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。

◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申し込みに関する決定は、お客さま自身でご判断下さい。

また、注目すべきイベントとしては6月12日に総選挙が予定されております。世論調査ではエルドアン首相率いる与党のAKP(公正発展党)が勝利するとみられており、選挙結果に関し大きな波乱はないとの見方が優勢です。総選挙後に利上げが行われた場合、短期的には株式市場にはマイナスの影響を与えられると思いますが、景気循環の大きな振幅を避けるための予防的な利上げの実施は中長期的にはトルコの経済、金融市場にプラスの効果をもたらすものと考えられます。

足元のトルコ株のバリュエーションは株価収益率が10倍(2012年予想収益ベース)を割り込み、他のエマージング市場と比較しても魅力的な水準にあります。トルコのファンダメンタルズは旺盛な内需に牽引され、今後も高い経済成長が継続すると期待できることから、株式市場の調整局面は、妙味ある投資機会を提供してくれるものと思われれます。

【主要株式指数の推移】



| イスタンブール・ナショナル100種指数 |           |
|---------------------|-----------|
| 2011年4月29日          | 69,250.14 |
| 2011年5月31日          | 63,046.02 |
| 騰落率                 | -8.96%    |

出所: Bloomberg

【トルコ・リラ 為替レート推移】



| 円/リラ       |        |
|------------|--------|
| 2011年4月28日 | 54.13  |
| 2011年5月31日 | 50.58  |
| リラ騰落率      | -6.56% |

※リラ騰落率がプラスの場合は円安リラ高、  
マイナスの場合は円高リラ安となります。  
※投資信託協会からの情報をもとに委託会社が作成

- ◆当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- ◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。
- ◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客さま自身でご判断下さい。

## [投資信託をお申込みに際しての留意事項]

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

### ●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限3.675%(税込み)
- 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保金 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 …… 信託報酬 上限1.995%(税込み)
- その他費用等 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

## 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

商号等 : 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者(関東財務局長(金商)第351号)  
加入協会 : 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会

- ◆当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- ◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。
- ◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客さま自身でご判断下さい。